

○ 委員長報告

2月臨時会本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

平成26年2月臨時会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

審査の過程では、一部の委員から、国の経済対策に係る補正予算が2月6日に成立したところであり、今回の臨時議会による対応は、時宜を得たものと認識しているが、今回の補正予算に対する考え方はどうかとただしたのであります。

これに対し、理事者から、今回の国補正予算は、4月からの消費税率引き上げ後に予想される景気の落ち込みを補うとともに、経済成長を確実なものとするために編成されたものであり、その内容は、道路や河川などの防災・減災対策や老朽化対策、農林水産業の振興など、本県にとって極めて重要な対策が盛り込まれていることから、これに即応し、スピード感をもって積極的に取り組む必要があるため、今回の臨時議会で御審議いただくこととしたものである。本県においては、まだまだ景気回復の実感が乏しい中、消費税率の引き上げに伴う景気の腰折れを回避し、県内景気・雇用の下支えに万全を期す必要があることから、早急に事業効果が発揮できるよう、迅速かつ着実な執行に最大限努力したい旨の答弁がありました。

このほか、空港整備直轄事業負担金、総合運動公園改修事業などについても論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。